

日本学生支援機構奨学金について

給付奨学金〈原則として返還不要〉

採用の基準 学力基準と家計基準の両方を満たす人が対象

・学力基準 次の①②いずれかを満たす人

- ① 奨学金申込時までの全履修科目の評定平均値が、5段階評価で 3.5 以上
- ② 将来、社会で自立し、及び活躍する目標をもって、進学しようとする大学等における学修意欲を有すること
(①の基準を満たさない場合に、②の基準を満たすかどうか、レポート等の提出により判定を行います。)

・家計基準 次の①②両方を満たす人

- ①収入基準…生徒・生計維持者(父母等)の所得等に基づき住民税非課税又はそれに準ずる世帯であること
- ②資産基準…生徒・生計維持者(父母等)の保有する資産が一定の水準を超えていないこと

〈給付奨学金の対象となる家計基準の収入・所得の上限額の目安〉

(参考) 家計基準の収入・所得の上限額の目安		(例) 会社員			(例) 自営業		
世帯人数	想定する世帯構成	給与所得者の世帯 (年間の総収入金額)			給与所得者以外の世帯 (年間の所得金額)		
		第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分	第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分
2人世帯	本人、親①	207万円	298万円	373万円	135万円	192万円	245万円
3人世帯	本人、親①、中学生	221万円	298万円	373万円	147万円	196万円	250万円
4人世帯	本人、親①、親② (無収入)、中学生	271万円	303万円	378万円	182万円	212万円	287万円
5人世帯	本人、親①、親② (無収入)、大学生、中学生	321万円	395万円	461万円	217万円	277万円	352万円

※表中の数字はあくまで目安です。世帯構成等により上限額は異なります。

日本学生支援機構「給付・貸与奨学金早わかりガイド」より

〈給付奨学金の給付月額〉

区分	国公立		私立	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分 (満額)	29,200円	66,700円	38,300円	75,800円
第Ⅱ区分 (満額の2/3)	19,500円	44,500円	25,600円	50,600円
第Ⅲ区分 (満額の1/3)	9,800円	22,300円	12,800円	25,300円

※生活保護世帯で生計維持者と同居する人・児童養護施設等から通学する人は、上表の金額と異なります。
※高等専門学校4～5年生、通信教育課程の人は、上表の金額と異なります。

日本学生支援機構「給付・貸与奨学金早わかりガイド」より

○実際には多様な形態の家族がありますので、基準を満たす世帯年収は家族構成や構成員の年齢等により異なります。支援の対象となるか、どれくらいの支援が受けられるか、「進学資金シミュレーター」を使って確認してみましょう。

「進学資金シミュレーター」 <https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>



○給付奨学金の支給を受ける人は、進学先で授業料・入学金の減免も同時に受けることができます。

減免の手続きは進学先の学校で行うことになります。

貸与奨学金〈返還必要〉

【第一種：利子なし】【第二種：利子あり】

3.5未満でも、経済的に困難な方については「将来、社会で自立し、及び活躍する目標をもって、進学しようとする大学等における学修意欲を有する」と認められる場合、学力基準を満たすものとして扱われます。

採用基準 学力基準と家計基準の両方を満たす人が対象

・学力基準

第一種：申込時までの全履修科目の評定平均値が5段階評価で**3.5以上**

第二種：申込時までの全履修科目の学習成績が平均水準以上である等

・家計基準：生計維持者(父母等)の収入・所得が基準額以下であること

(参考) 家計基準の収入・所得の上限額の目安		(例) 会社員			(例) 自営業		
世帯人数	想定する世帯構成	給与所得の世帯 (年間の総収入金額)			給与所得以外の世帯 (年間の所得金額)		
		第一種	第二種	併用貸与	第一種	第二種	併用貸与
2人世帯	本人、親①	761万円	1,166万円	706万円	546万円	893万円	500万円
3人世帯	本人、親①、中学生	761万円	1,166万円	706万円	550万円	893万円	504万円
4人世帯	本人、親①、親②(★)、中学生	716万円	1,113万円	661万円	541万円	879万円	494万円
5人世帯	本人、親①、親②(無収入)、大学生、中学生	865万円	1,219万円	810万円	667万円	980万円	624万円

★親②は、例として、給与所得の場合(左表)は収入300万円、給与所得以外の場合(右表)は所得200万円としています。
※ 表中の数字はあくまで目安です。世帯構成等により上限額は異なります。
※ 「併用貸与」とは、第一種奨学金と第二種奨学金を併せて利用することです。

こちらの表はあくまでも目安です。

「進学資金シミュレーター」で、家計基準を満たすか試算してみましょう。



「進学資金シミュレーター」

<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>

日本学生支援機構「給付・貸与奨学金早わかりガイド」より

〈貸与奨学金の貸与月額〉

あなたの進学先、通学形態によって定められている下表の金額から選択し、原則毎月1回、卒業まで振り込まれます。

		大学				短期大学・専修学校(専門課程)			
		国公立		私立		国公立		私立	
		自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
第一種奨学金	最高月額	45,000円	51,000円	54,000円	64,000円	45,000円	51,000円	53,000円	60,000円
	以外の月額		40,000円	40,000円	40,000円		40,000円	40,000円	40,000円
			30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円
第二種奨学金		20,000円							
入学時特別増額貸与奨学金		20,000円～120,000円(10,000円単位)							
入学時特別増額貸与奨学金		100,000円～500,000円(100,000円単位)							

※「最高月額以外の月額」は10,000円単位で選択できます。
※給付奨学金と併せて第一種奨学金を利用する場合は、第一種奨学金の貸与月額が調整されます。
※第一種奨学金の「最高月額」は併用貸与の家計基準(次ページ参照)を満たしている場合に選択できます。
※入学時特別増額貸与奨学金の単独利用はできません(入学後、初回1回のみ奨学金です)。
※「入学時特別増額貸与奨学金」は、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申し込んで利用できなかった方を対象としています。「国の教育ローン」を利用できた場合、「入学時特別増額貸与奨学金」は利用できませんので、辞退していただくこととなります。
※海外大学では、第二種奨学金(及び入学時特別増額貸与奨学金)のみ利用できます。

「奨学金貸与・返還シミュレーション」

<https://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/>

奨学金の種類、貸与月額、利率など様々な条件で、貸与額と将来の返還額・返還回数の試算をしてみましょう。

日本学生支援機構「給付・貸与奨学金早わかりガイド」より

○貸与奨学金は「もらう」ものではなく、「借りる」ものです。将来、あなた本人が返還していく義務を負います。

○申込時に、機関保証又は人的保証のいずれかを選択し、保証を付ける必要があります。保証制度の詳細については、日本学生支援機構の関係書類を御確認ください。

日本学生支援機構奨学金を希望する人は、担任の先生から書類の入った封筒を受け取ること!

その後、事務室に必要書類を提出すること!【令和5年5月12日(金)まで!】